

八代城関係略年表

- 1588年（天正16）閏5月 豊臣秀吉、肥後国北部を加藤清正、肥後国南部を小西行長の所領とする。
小西行長、八代城（麦島城）の築造に着手。
- 1592年（文禄1） 6月 梅北の乱が起こる。佐敷・八代城、島津家臣梅北国兼の襲撃を受ける。
- 1600年（慶長5） 9月 関ヶ原の戦いが起こる。
10月 宇土・八代城、加藤清正に占領される。
小西行長、京都で刑死。
9~10月 島津軍、加藤領芦北郡に侵攻。田浦村百姓220人を掠奪する。
- 1601年（慶長6） 1月 加藤清正、徳川家康から肥後一国（球磨・天草郡を除く）を拝領。
- 1602年（慶長7） 7月 徳川家康、島津氏の所領を安堵する。
- 1611年（慶長16） 6月 加藤清正死去。
- 1612年（慶長17） 6月 幕府の命により、水俣・宇土・矢部廃城。加藤正方、八代城代となる。
- 1615年（元和1） 閏6月 一国一城令により、佐敷廃城。熊本・八代の二城体制となる。
- 1619年（元和5） 3月 地震により八代城（麦島城）崩壊。
熊本藩主加藤忠広、八代城代加藤正方に新城（松江城）の築城を命じる。
- 1622年（元和8） 2月 八代城（松江城）竣工。
- 1632年（寛永9） 5月 加藤忠広、改易される。
10月 細川忠利、熊本藩主となる。
12月 細川三斎、八代入城。
- 1637年（寛永14） 10月 島原の乱が起こる。
- 1638年（寛永15） 6月 松井寄之、島原の乱平定戦の戦功により鍬形差物を拝領。
- 1645年（正保2） 12月 細川三斎、死去。
- 1646年（正保3） 5月 松井興長、八代城代に任じられる。
10月 熊本藩主細川光尚、武器・弾薬を八代城に送る。
- 1672年（寛文12） 2月 落雷で八代城の天守櫓が焼失。
- 1853年（嘉永6） 6月 アメリカ東インド艦隊司令長官ペリー、浦賀に来航。
11月 熊本藩、観音崎砲台（横須賀市）の警備を命じられる。
- 1856年（安政3） 八代城代松井章之、武蔵国川口の職人増田安治郎に大砲の製造を依頼する。
- 1866年（慶応2） 6月 小倉戦争勃発。熊本藩、幕府軍として出軍。
- 1867年（慶応3） 12月 王政復古の大号令。
- 1869年（明治2） 6月 版籍奉還。松井盈之、熊本藩大参事に任命される。
- 1870年（明治3） 5月 松井盈之、熊本藩大参事を解任される。
10月 松井盈之、八代城守衛を解任される。八代廃城。
- 1871年（明治4） 7月 廃藩置県。
11月 八代県が置かれる。
- 1872年（明治5） 5月 八代県庁が八代城本丸に置かれる。
- 1873年（明治6） 1月 白川県と八代県が合併。八代県庁は白川県の八代出張所となる。
八代城大書院の中に代城校（代陽小学校の前身）が設けられる。
- 1877年（明治10） 2月 西南戦争勃発。
3月 政府軍が日奈久に上陸。
4月 萩原堤で薩摩軍と政府軍が衝突。
- 1883年（明治16） 八代城本丸に八代宮が置かれる。
- 1963年（昭和38） 1月 八代城本丸と内濠が熊本県指定史跡となる。
- 1989年（平成1） 3月 八代市、八代城跡保存管理計画を策定する。
- 1996年（平成8） 3月 都市計画道路麦島線及び八の字線建設に伴う麦島城跡発掘調査が開始される。
- 2004年（平成16） 3月 九州新幹線鹿児島ルート新八代～鹿児島中央間が開通。八代～鹿児島島の移動が最速35分となる。
- 2005年（平成17） 2月 八代市立博物館で麦島城をテーマにした展覧会が開催される。
- 2008年（平成20） 2月 八代市立博物館で八代城をテーマにした展覧会が開催される。